

審議した議案と各議員の賛否

第3回定例会・第2回臨時会の議案等の表決を、賛成は○、反対を×、欠席は-で表示してあります。採決に加われなかった議員は斜線で表示してあります。

議案名	藤咲美子	片岡藏之	菌部一	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坏孝
城里町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため採決に加わっていない	○	○	○	○	○	○
城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町公共下水道供用開始区域拡大に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町一般会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町介護保険特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町水道事業会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町一般会計補正予算(第2号)について	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	

第2回臨時会

平成28年度城里町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	×	○	○
----------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一般質問

町政を問う

今回4名が質問し、
その要約を掲載しました。

片岡 藏之 議員 …………… P 13

- ・ 災害発生時の対応
- ・ 発生危険箇所の把握は
- ・ 町の活性化は

藤咲 芙美子 議員 …………… P 14

- ・ 防災行政無線の戸別受信機の設置について
- ・ 交通安全対策について
- ・ 太陽光発電について
- ・ 認定こども園について

南條 治 議員 …………… P 15

- ・ 町所有の公用バスは
- ・ 山桜について
- ・ 今回の台風被害状況は

河原井 大介 議員 …………… P 16

- ・ リーサスについて
- ・ 防災について
- ・ 図書館について
- ・ 青少年育成（スポーツへの支援）について

〈お詫びと訂正〉

議会だより47号で誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

表紙 誤：七会保育園 正：ななかい保育所
P 5 誤：老人世帯の安全確認の拡大を書籍
正：老人世帯の安全確認の拡大を



かたおか くらゆき 議員
片岡 藏之

災害発生時の対応は

《町長》 班に分かれ災害対応に当たる。

片岡 9月は色々
と防災を考える月と
いうことで防災に関
連した質問を行いた
いと思う。地震につ
いて本町の対応は。
町長 本町におい
ては対策本部に総括
班、調達班、避難誘導
班、応急復旧班、給
水班、文教班、支所班、
消防班に分かれ災害
対応に当たる。本年よ
り台風災害に関
関しタイムラ
インの計画を
作成し、事前
に職員の訓練
を行なって台
風に対応して
いる。
片岡 本町
では那珂川の
支流が多いが
その河川の対
応は。
町長 那珂
川に注ぐ小河
川において河
川の流下能力
を高めるため

災害警戒・対策本部の組織

【本部会議】	
本部長	町長
副本部長	副町長、教育長、消防団長
本部員	各課長、各局長



【各班】	
総括班（総務課長）	まちづくり戦略課、総務課、議会事務局
調達班（財務課長）	財務課、会計課
避難誘導班（福祉こども課長）	町民課、税務課、長寿応援課、福祉こども課
医療救護班（健康保険課長）	健康保険課
応急復旧班（都市建設課長）	まちづくり戦略課、都市建設課、下水道課、町民課、農業政策課
給水班（水道課長）	水道課
文教班（教育委員会事務局長）	教育委員会事務局
支所班（各支所長）	桂支所、七会支所
消防班（消防団長）	消防団

※（ ）内の者は班長となるものを示す。



土砂の滞留した河川

の土砂さらい、河川
の整備が大切でその
必要な箇所は県に
対し要望している。
片岡 本町では各
自治会等の集会施設
に避難所の看板を出
して指定しているが、
各施設とも一時的に
は集まれるが、機能
面では難しいと思わ
れるが。

町長 短期的な避
難であっても、トイ
レ等の問題は重要な
問題と認識している。
集会所のトイレ改修
等などは町地区集
費の3分の1の補助
を行っている。又、
発電機を購入したい
のであれば、町自主
防災組織活動育成事
業費補助金において

2分の1の助成をお
こなっている。
片岡 私が以前一
般質問において原発
災害時の避難路はま
だ決まっておりませ
ん。県の方向性を考
慮してからの答弁
をいただきましたが、
その後をお伺いする。
町長 町において
は、栃木県に避難す
ると県の作成した原
子力災害に備えた茨
城県広域避難計画に
より指定されている。
今年度中に栃木県の
各自治体と避難受け

入れに向けての要請
作業を進めている計
画である。又、東京
都江戸川区と災害協
定を結んでおります
ので受け入れの要請
も考えられる。
片岡 栃木県への
避難ということでは
道はどうか。123
号線はどうなるか分
からない中、塩子を
通る水戸・茂木線こ
の1本では不安では
ないか。既存の町道
の拡幅、整備等で災
害時に十分活用でき
るのでは。

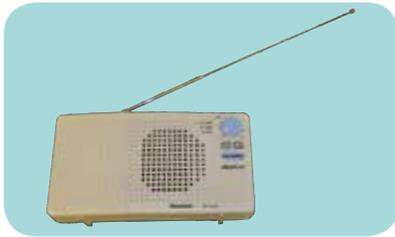
町長 地域の
活性化の観点か
ら道路整備は
重要と考えてお
り、地域の意見
等を伺って順次
行ってまいりた
い。
《その他の質問》
・ 発生危険箇所
の把握は
・ 町の活性化は

防災行政無線の戸別受信機の設置について



藤咲 芙美子 議員

《町長》 メーカーで製造中止のため販売できない。



桂地区の戸別受信機

藤咲 防災行政無線が聞こえるかどうかは命にかかわる問題だ。総務省のホームページでは防災行政無線の戸別受信機の整備が特別交付税措置による財源措置の拡充に言及している。この機会に戸別受信機をぜひ検討してほしい。

町長 戸別受信機は常北地区の希望者に有料で配布していたが、メーカーで対応機種の製造販売を中止した。常北地区は購入できない。

藤咲 総務省の政策はどのように検討したのか。

町長 他の経験によると震災にラジオが非常に有効だった。ラジオだと大きな費用もかからない。

太陽光発電について

《町長》

県のガイドラインに沿ってチェックしていく。

藤咲

町長 当町でも太陽光発電パネルを散見する。私は再生可能な自然エネルギーを利用の発電には賛成だ。しかし、このまま太陽光パネルが無秩序に増えて、森林伐採による土砂災害の危険が増えている。

交通安全対策について

《町長》

適切な対策とついでいく。

藤咲

町長 最近、大型車の交通量が多くなり町民の安全が脅かされていると聞く。私が注意して見た限り増井、磯野、勝見沢地区の通学道路、生活道路にダンブが進入し交通量が多い。町民、通行人の安全

を確保する方策を町はとって欲しい。

町長 笠間警察署に交通規制の要望を出しており、本年8月26日に区間の交通規制が実現した。今後危険箇所をパトロールし適切な対策とついでいく。



太陽光パネル

認定こども園について

《町長》

親の就業形態が変わっても通い慣れた園で過ごせる。

藤咲

町長 来年度から常北幼稚園が認定こども園となるが、認定こども園ではオプションとして特色を出す。その際子どもに格差や差別感を根づかせるようなことがあってはならない。とくに、食育ことは人間の生育の基本。新制度では外部からの弁当も可能とされているが、好ましいとは思わない。

町長 今までは親の就業の有無により保育園、幼稚園に分かれていた。親の就業形態が変わっても通い慣れた園で過ごすことができるようになる。



南條 治 議員

町所有の公用バス利用状況は

《町長》平成27年度127回の運行中92回が学校行事等。

南條 学校関係の利用が多いが、その他の利用について問い合わせは。

町長 PTA、高齢者クラブの問合せがある。27年度127回の運行中92回が学校行事、学校以外35回で保育園、各種団体競技会の参加会議等職員随行、添乗の町事業。現在の規則では町の事業として行うもの、学校が行うものに限られる。団体だけの利用は貸せない運用(町のバス)になっている。一方、町バスを社会福祉協議会に譲渡すれば、社会福祉協議関係団体で使うことができる。(町職員随行なし)

南條 車輛点検等どのようなに行っているのか。

財務課長 運行前点検実施の義務付け、日常点検表と運転日

報、運転記録、運行表の提出。バスメーカー指定の町内指定工場で法廷3カ月点検を実施。

南條 桂支所駐車中(仮称原子力)バスについて利用制限はしているのか。

町長 原子力防災用機材避難用バスとして県から借りているもの。利用制限は目的外使用を制限するものではないが避難用。短時間で戻る利用であれば町の行事で使う。

南條 七会診療所車庫の患者送迎用車輛は、現在どのような状況なのか。

町長 現在使われていない。今年度で使用制限が切れる。整備をした上で社会福祉協議会の方へ所管を移す。高年者クラブ等の行事にも使える様対応したい。負担額一日当たり基

本(運転手経費15,660円)



県から貸与されている避難用バス

山桜について裁判の成り行きは

《町長》

平行線の状態で裁判は続いている。

南條 町長は社長として原告の責任を果たすべきと思うが。

町長 裁判の現状、被告側は「一切山桜の金を外部に流出したことはない。」「仕

入れに使ったが、記帳を間違えただけ。」と主張。現在、町側の主張とは平行線の状態で裁判は続いている。

今回の台風被害状況は

《町長》

倒木等70カ所。停電1700世帯余。

南條 各部署においてパトロールはしたのか。

町長 町ではその都度災害警戒本部を設置。パトロール隊を11班編成巡回。都市建設課・農業政策課・下水道課・水道課の巡回。倒木等70カ所。順次停電1700世帯余。その次の日までに復旧を指示。作業を終える等の対応。

南條 農地の土砂流出があるようだが。

農業政策課長 農業政策課、都市建設課該当6カ所。今後その地区を重点的に点検。トラクター等土砂排出の注意周知をしていきたい。

リーサス (地域経済分析システム) について



かわらい だいすけ 議員
河原井 大介

〈町長〉昨年度、人口ビジョンと総合戦略策定に活用した。

河原井 地方創生の情報支援として平成27年4月から運用開始されている地域経済分析システム、通称リーサスのビックデータを町としてはどのように活用しているのか。

町長 昨年度、企画財政課（現まちづくり戦略課）企画調整グループでリーサスを活用し、人口ビジョンと総合戦略策定に活用した。

河原井 リーサス・システムを広く利用、住民参加型の地域活性化を模索するためにワークショップ等を開催しては。住民に対して活用してもらうため、総合的な見解を伺いたい。

町長 システムはインターネットで誰でも見られる状態である。ただし、リーサスに載せるべきデ

ータを整備する事が町の現課題になっている。また、リーサスを使わずに得られる、より身近な情報もしつかりと生かしたい。

河原井 城里町に関する国のデータを調べると、高取鉱山に金が眠っているという資料がある。まちづくり活性に必要な情報を素早く取り入れ、政策に役立てる地域戦略室的な部署が必要ではないか。

町長 現在、まちづくり戦略課内において総合的な町の方向性や戦略を進めているが、取りかかっている事業が沢山あり、新規事業まで手がけて行くことが難しい状況。今後は、現在の事業が終わり次第、次の事業を手がけてまいりたい。

防災について

《町長》
江戸川区からの職員派遣は大きなメリットである。

河原井 防災について、江戸川区とどういう協力体制を結んでいるのか。

町長 様々な支援項目があるが、応急復旧対策に必要な江戸川区からの職員派遣は城里町としては

大きなメリットである。

河原井 江戸川区へ支援する場合の対応は。

町長 特に救護が必要な人々をある程度受け入れることを想定している。

青少年育成（スポーツへの支援）について

《町長》
保護者負担軽減に向けて補助等検討したい。

河原井 町の青少年育成スポーツ事業について、特に中学校の部活動等を支える保護者の方の負担等について、町として現場でどういう課題があるのかを再確認し、子ども達のスポーツ活動を支援する仕組みを整える必要があると思うが、町としての考えは。

町長 保護者の負担が重くなっている現状で、来年度予算の中で、負担軽減に向けて、一定の補助等の実施を検討したい。

図書館について

河原井 図書館利用について。DVDの拡充等、利用者の要望を取り入れた図書館づくりを進めてはどうか。

町長 コミュニティセンターの図書室に視聴覚資料が全く無いので、新設したい陳列や展示の方法についても改善していく。